

— MEMO —

この芝生化事業は「あいち森と緑づくり事業」の対象事業として愛知県から助成を受けて実施しています。



今回の芝生化は、低コストで維持管理が簡単な「ティフトン」という品種を用いています。芝生と雑草を一緒に刈り込みでき、養生などによる立ち入り制限もほとんど必要ないとのこと。草取りや消毒を行わないため、水まきと芝刈りが主な作業となり、保護者の負担も少ないそうです。



広報サポーター  
羽佐田明美さん(寺津町)

# 市民記者が行く！ 広報サポーター レポート

## 園庭、校庭、 市いっばいに 広がる一緑の芝生

西尾市は、保育園・幼稚園の園庭芝生化事業を推進しています。この12月までに26園で実施されました。今回は、寺津保育園の芝生化の様子を、写真と一緒にレポートします。従来の土の園庭しか知らないの、芝生ってどうなるのだろう…と半信半疑でした——



10月  
1

親子運動会。ついにこの日がやってきました。しかし、早朝から雨…このままだと延期かと思いきや、小雨になり決行。園庭の状態は大丈夫かと少し不安になりましたが、軽く湿っているくらい。排水の良さを実感しました。途中、日が当たり、風も出てきましたが、照り返しの暑さ、土ぼこりから解放されていた気がします。今回、大半は曇っていましたが、実際、土と芝生では、涼しさや開放感も全く違うようです。芝がぬれたためか、滑りやすく転倒した子もいましたが、ひどい傷にはなっていない様子。これなら今まで以上に思いっきり走れます。



——これから冬になり、芝の色の变化も楽しみです。寒くなっても園庭を駆け回る子どもたちの元気な声が聞こえてくることでしょう。

広報サポーターは、公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で、市内各地のイベントなどを取材していただきます。



7月  
23

植え付けから約1か月後の芝の状態。暑さにもめげず順調に成長し、苗が隣同士くっつくようになってきました。コケのような香りがしています。



8月  
10

自走式芝刈り機。かなりの威力のようで、先生たちがまず試し刈り。今後は予定を決め、年長児の保護者が順番に刈ることになっています。



8月  
31

芝を刈って、とてもきれいに生えています。青い空に緑の芝生。青々とした芝の香りがします。



5月  
14

芝生化の前に、スプリンクラーの設置工事が始まりました。



6月  
18



天気は快晴。この日は、親子ふれあい参観日で、たくさんの保護者と園児で広い園庭も埋まりました。園芸業者の方や園長先生が分かりやすく作業内容を説明。いざ植栽へ！ 榊原市長、町内会やPTA役員の方々も植え付けに参加してくださいました。苗を植え付ける位置に線で印が付けてあり、線の交点に1株ずつ芝を植えていきます。最後は足で踏み、芝を押さえつけて完了です。植え付けた後、スプリンクラーから水が！ 水のシャワーができてうれしそう。多くの方の参加により、作業時間は1時間もかからず、無事終わりました。暑かったけど、楽しく植え付けができました。1㎡に8株くらい、これからどのように伸びていくのでしょうか。

## 伝統と文化を継承する コミュニティ

あかばね きやり  
赤羽木遣太鼓保存会



一色町赤羽の「赤羽木遣太鼓保存会」は、平成14年3月に行われた地元（ちよこく）の若一神社ご遷宮の際に、拝殿の棟木の奉納のため結成された「木遣り隊」を中心として、平成15年7月に結成されました。木遣り歌は「江戸木遣り」と呼ばれる、江戸中期から町火消の間に歌われたものを受け継いでいます。平成17年から纏（まき）も加わり、木遣りの雰囲気有一段と高めています。赤羽太鼓は、昭和34年の伊勢湾台風以降、約40年途絶えていたものを修復し、復活させました。

現在、保育園児からシニアまで幅広い年齢の方が所属し、毎週日曜日の夜に、赤羽ふれあい会館で練習しています。結婚式や上棟式、イベントでの演奏など多方面で活動し、祭礼には欠かせないものとして地域の皆さんの声援を励みに頑張っています。

保存会が発足し、早いもので今年で13年。次の世代へ技術や心意気を伝えていく時期を迎えました。赤羽の伝統を伝えていくことは、日本の伝統芸能の技術や文化の継承にもつながります。これからも赤羽の伝統を継承する会員を育成していきます。

問 小堀 (☎090・1827・4112 / 一色町)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



こはる  
小倉 心桜ちゃん  
(下矢田町)

平成27年6月生まれ  
心桜がいてくれて幸せだよ。心のあたたかい子に育ってね。



さき  
鈴木 彩月ちゃん  
(中町)

平成27年5月生まれ  
食べるの大好き♡  
いっぱい食べてすくすく大きくなってね!



そうま  
中根 壮真くん  
(下矢田町)

平成26年12月生まれ  
壮ちゃん的笑顔でパパとママは幸せ♡ 大きく元気に育ってね。



ことら  
石森 瑚虎くん  
(一色町)

平成27年6月生まれ  
チビ助な瑚虎、家族みんなの宝物です。大好き!!



りいち  
鈴木 理市くん  
(一色町)

平成27年5月生まれ  
いつも笑顔で家族に幸せをくれてありがとう。元気に成長してね!



ゆめと  
牧野 夢大くん  
(吉良町)

平成26年12月生まれ  
じいちゃんのトラクターが大好き! 笑顔で元気がいっぱい育ってね♡



あゆみ  
鈴木 あゆみちゃん  
(中原町)

平成26年12月生まれ  
いつもみんなを笑わせてくれるあゆみ。元気に大きくなってね!



ねね  
大山 寧ちゃん  
(吉良町)

平成27年5月生まれ  
大きな返事にすてきな笑顔♪ お兄ちゃんとなかよくね~☆

キ  
ツ  
ズ  
ア  
ル  
バ  
ム



# 西尾市史ニユース Ⅳ

## 祭りを後世に伝えること

岩瀬文庫学芸員 鈴木とよ江

人々の暮らしや風俗などを丹念に調べ、未来に伝えていくために「民俗編」の編さんを進めています。祭礼については、行事の様子を調査するだけでなく、事前準備の調査や、地元の方からの情報の聞き取り、時には事後の調査などを行っています。こうした調査で、その祭礼が持つ意味を読み解くことができます。

ことに10月・11月は、稲の収穫も終わり、秋の祭礼シーズンです。秋の祭礼は1年の恵みを神に感謝するために行われるもので、古くから農業が盛んな西尾市域では毎週末、必ずどこかで祭礼が行われていました。市史の調査では毎週のようにどこかの神社を訪れました。日程が重なることもしばしばで、1日に複数の神社を回ることもありました。

そのうちのひとつ、室町の神明社「秋の祭礼」の最後に行われる「御櫃割<sup>おひろ</sup>」は、市の無形民俗文化財に指定されています。祭礼そのものは各地の五穀豊穡の感謝の祭りと同様に、神事として粛々と進められます。そしてクライマックス、最後に行われる御櫃割は神前に供えられたこわめし入りのお櫃を厄男と氏子(年行司)が取り

合い、そこに氏子が手桶から甘酒をかけると同時に厄男がお櫃を奪います。奪ったお櫃はしめ縄を外し、蓋を拳で叩き割り、中のこわめしを手づかみで食べます。これを食べると「病気になるらない」といわれ、参詣者にも振る舞われます。

こうした祭礼行事は、準備から片付けまでムラ人総出で行う一大イベントで、その伝統は後世に伝えていく必要があります。

今でこそ、写真や動画などで記録して伝える方法を取っていますが、かつては、口伝えや体験によって伝えられてきたものです。市史ではそうした市内各地の祭礼の様子を伝えられるよう努めます。



祭礼前日の準備は、人々が総出で飾りつけなどを行います。室町では縄から自分たちで作り上げており、大切な技術の伝承の場にもなっています。

岩瀬文庫 (☎56・2459)

# 月刊!! スポーツにしお Vol.21

## にしお駅伝フェスティバルで健康づくり!!

12月18日(日)に、愛知こどもの国でにしお駅伝フェスティバルが開催されます。小学生からシニアまで7部門に分かれ、健脚を競い合います。どのコースも上り坂や下り坂があり、かなりきついコースとなっています。

にしお駅伝が愛知こどもの国で開催されるようになってから、今回で5回目。過去最高の235チームが出場し、多くは西尾市内からの出場です。会社の仲間や家族、クラブチームなど、編成はさまざまで、優勝を目指すチームはもちろん、親睦目的で楽しんで走るチームも多いようです。

当日は、名鉄こどもの国駅から会場へシャトルバスが出ます。応援者も乗ることができるとのご利用ください。

市のスポーツ推進計画では、「週1回スポーツをしよう!!」と掲げています。この大会を機に、日頃運動する習慣がない人にも、運動する習慣が身に付くことを願っています。

愛知こどもの国はランニング

に適した場所です。子どもにとっては、遊具で遊んだり、広大な敷地を移動したりすることもできるので、運動として効果抜群です。遊ぶことが運動であり、スポーツです。愛知こどもの国へ出掛けて、身体を動かして楽しみましょう。



スポーツ課振興担当 (☎54・0002/総合体育館内)



## 西尾市のデータ

### ■人口



|     | 11月1日現在  | 前月比    |
|-----|----------|--------|
| 男性  | 86,556人  | +61人   |
| 女性  | 84,704人  | +37人   |
| 計   | 171,260人 | +98人   |
| 世帯数 | 62,124世帯 | +102世帯 |

### ■交通事故の状況



|             | 人身事故<br>件数 | 死傷者  |     |
|-------------|------------|------|-----|
|             |            | 負傷者  | 死亡者 |
| 10月         | 66件        | 79人  | 0人  |
| 1月からの<br>累計 | 597件       | 727人 | 6人  |

### ■消防の状況



|             | 火災  | 救助  | 救急     |
|-------------|-----|-----|--------|
| 10月         | 3件  | 2件  | 521件   |
| 1月からの<br>累計 | 38件 | 37件 | 5,481件 |

## 今月の表紙

10月30日に第8回佐久島太鼓フェスティバルが行われ、市内外から集まった9組が太鼓の演奏を披露しました。写真は一色高校と太鼓部「いっしき」の演奏の様子です。今年創部10周年を迎える「いっしき」は、年60回程公演しています。この日も迫力のある演奏で、満席の会場を盛り上げていました。

## 編集雑記

先日行われた17万人市民まるごと防災訓練で、初めてドローン（小型無人機）を使った訓練が行われました。第一印象は音が静かで、上空で機体に安定性があり、地上のモニターに送られてくる映像も鮮明。災害時には人が近づけない現場の状況をリアルタイムに把握できるため、人命救助などさまざまな場面で貢献してくれることでしょう。災害時以外にも、イベントなどの取材でドローンから空撮できたら、新しい視点の写真が撮れると想像が膨らみます。(ゆ)

スクールスマイルショット

# School Smile Shot

### ●西尾中学校

10月25日に創立70年記念の全校茶会が行われ、生徒が来賓や保護者を抹茶で接待しました。来場者を楽しんでもらえるよう、おもてなしと利他の心で呈茶や余興に努めていました。



### ●一色中部小学校

11月4日、放課時に地震と津波が発生した想定で避難訓練を行いました。地震発生時の放送が校内に流れると、児童たちは素早く身を守る行動を取り、先生の指示に従って避難していました。



### ●吉良中学校

吉良中学校総合50周年記念式典が11月5日に行われました。記念行事として卒業生である糟谷悟氏（トヨタ紡織陸上部）が講演。終わりに代表の生徒からお礼の花束が手渡されました。



## 【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>  
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail [nishio@city.nishio.lg.jp](mailto:nishio@city.nishio.lg.jp)

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)  
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)  
〒444-0492 西尾市一色町一色伊那路61

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)  
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)  
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。